

令和5年度 第1回 釜石市立鵜住居公民館運営審議会開催結果

1 日 時 令和5年5月22日（月）午前10時から午前11時

2 場 所 釜石市立鵜住居公民館 多目的室

3 出席委員 7人

小山士委員長、三浦紘子副委員長、佃拓生委員、佐藤一成委員
澤本和子委員、瀬戸保子委員、山口未来委員

4 欠席委員 なし

5 事務局 4人

まちづくり課 佐藤貴之課長、浦城太郎主任
鵜住居公民館 松下隆一館長、植田優子主任栄養士

6 傍聴者 なし

7 結果

- (1) 松下館長が本日の審議会について、委員7名中7名が出席しており、釜石市立公民館規則第10条第3項に基づき、会議が成立していることを宣言。
- (2) 本会議の議長は、釜石市立公民館規則第9条第1項に基づき、小山委員長にお願いし、小山委員長が議事進行を行い、令和5年度釜石市立鵜住居公民館運営方針及び事業計画について協議の結果、すべて承認された。

8 内容

(1) あいさつ

①釜石市市民生活部まちづくり課長 佐藤貴之（概要）

皆さんおはようございます。課長の佐藤貴之と申します。よろしくお願いします。
つい二ヶ月前までは、小佐野応援センター（公民館）の館長で、今もまだ地に足がついていなくて公民館長という気持ちでいますけれども、鵜住居地区はどうしても被災というところからは目が離せないところだと思います。また、いろいろな公民館事業など、かなりの数こなされているところだと思います。

私も、義理の母親が鵜住居小学校で被災をして、生き延びたという人間でしてこの鵜住居地区には、縁があるなと思っております。いろんな意味でサポートしながら 各公民

館を回っていますけれども、今年度もいろいろ事業に関わっていきたいと思います。また、鵜住居公民館長とは、同級生で幼馴染です。家も30秒ぐらいの距離のところなので、常に連絡を密にし協力をしたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

② 釜石市鵜住居公民館運営審議会委員長 小山士（概要）

おはようございます。小山士でございます。よろしくお願ひいたします。

私から一言、委員の皆様にお願いがあるのですが、公民館活動を行っている中でも、高齢者の孤独化について、この問題は結構問題になっているようでございますので、できるだけいろいろな公民館活動へ、多くの方々に参加していただけよう声掛けをしていただきたい。

また、この公民館では、これからも高齢者の孤独化がなくなるような活動を宜しくお願ひしたいと思います。簡単ですが挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

※松下館長より、委員及び事務局の出席者名を報告。

（2）協議（議長：委員長）

① 令和5年度釜石市立鵜住居公民館運営方針及び事業計画について

松下館長が別添資料「令和5年度釜石市立鵜住居公民館運営方針及び事業計画」により説明。

○委員の主な発言等（概要）

小山委員長

令和5年度釜石市立鵜住居公民館運営方針及び事業計画でございますが、何か皆さんから、ご意見やご質問などをお願いいたします。

小山委員長

高齢者に対する事業計画は盛り込まれているのですが、何か取り組んでいますか？

松下事務局長

令和5年度の事業計画の概要としてご説明いただきましたが、今の時点では新しい事業は盛り込んでいません。いろいろと活動していく中で、地域の方から要望があった場

合、私たちの方で、これがいいのではないかという事業を思いついたら、新たに事業として始めて、皆さんには、来年2月の事業報告の時にご説明させていただきたいと思いますので、今の時点では、ほぼ昨年度と同じ事業を行う感じになります。

ただ昨年度、新しい事業を始めたのが多かったので、前年度の事業計画に比べると、内容はかなり充実したものになっていると思います。

小山委員長

先生方から何か ご質問やご意見等がございましたらお願いします。

佐藤委員

鵜住居小学校ですが、昨年度、鵜住居地域交流会の公民館で行った「ポッチャ」ですが、 すごくたくさんの笑顔が見られたのですが、今年度の実施については、特に12月にこだわらなくて良いのですか？

松下事務局長

特に12月にこだわらないです。例年、小学校さんと連絡をしながら、お互い都合の良い時期で開催されておりました。

後は、小学校さんにつきましては、1ページの2番の学童期を中心とした事業の「わんぱく子ども教室」です。こちらの方は、学童育成クラブさんとお話ししているところでありますが、今のところ山田町の陸中海岸青少年の家のメニューを活用させていただいて、何かできないかと相談しているところでしたので、こちらの方もよろしくお願ひしたいと思います

佃委員

東中学校です。昨年の冬休みなんんですけど、学校の図書室で勉強させてくれという中学三年の受験生がいて、授業で分からなかったことをその日のうちにお互いに聞きながら勉強をしていました。学校の図書館もですが、公民館などそういう場が、ひとつではなく色々あるといい事なのかなと思っていますのでよろしくお願ひします。

また、意外と中学生の姿が地域に見えなくなった。などといった声が聞こえてきますが、コロナも落ち着いて学校に足を運んでいただく機会も出てくると思いますので、ぜひあの子たちを見て頂ければと思っていますのでどうぞよろしくお願ひします。

松下事務局長

東中学校さん、鵜住居小学校さんもなんんですけど、11月に予定しています鵜住居公民館祭りで何か協力していただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

小山委員長

事務局の方から何かありませんか？

佐藤課長

中学生と高校生などが、冬休みや夏休みに公民館でもっと勉強したいといって来たときは貸し出しがしているのか？

松下事務局長

公民館が開いている時には貸し出しがしている。

佐藤課長

冬休みの受験のあたりでいうと、釜石中学校では、勉強をしに学校まではどうしても行けない生徒とか、小川町の生徒など遠いところに住んでいる生徒だとやっぱり図書館を使用する生徒が多い。また、小佐野公民館を貸してほしいという状態のため、どんどん貸し出しが行っている。

松下事務局長

前年度、冬休みの期間でしたかね。東中学校の生徒さんたちが個別になんか勉強したいので公民館を貸して下さい。と話がありましたが、一応、公民館の予約はしましたが使用しませんでした。

小山委員長

ここまでで、何か質問がありますか？特にないようですので。事務局の方から何かお願いします。

松下事務局長

公民館の事業をいろいろ計画しているのですが、参加者がなければ成り立たないもので地域の交流会とかそういう世代間交流の場等の申し込みの際に、申し込みが少ない場合、今日も参加されておりますが、「実年ひろば」の皆様には、すごく協力していただき助かっていました。今年度も、引き続き宜しくお願いしたいと思います。

小山委員長

あと、皆さんから何かございませんか？

三浦委員

最近、鶴住居地区の老人の方が、孤独死していたのがすぐ発見できなくて、何日か後

に発見されたんだそうです。けれどもその時に、食べるものは何もなくて冷蔵庫には何も入ってなくて家の中には、物を食べた後がなく、本当にもうお腹が空くとどうにもならなくて自分では何もできなくて、亡くなつたんだと思いました。

それで思ったのは、震災後は、一人暮らしの老人のことや仕事につけない人や、仕事が出来ない人、また、働くことができない人達が家の中にこもって外に出ないということも結構耳にしました。

その当時、社協さんだったのか、公民館だったのか、各家を毎月のように、一人暮らしの人たちを訪ねて、「お元気ですか?」って声掛けをして、何か変わった事や、いつもとちょっと様子が違った事をなどを早く発見するために家を回って、この人は危ないなと思うような人はチェックをし、家を回る回数なども、気を付けるようにしていた。というのを耳にしたのですが、そういうことは、今はなされているんですか、どうなんでしょうか?

松下事務局長

今も続いています。アットマークリアスさんと社会福祉協議会の方々が復興住宅を回って歩いています。状況確認をして毎月一回、情報共有の場を設けて報告していただいている。ただ、やはり訪問してもやはり出てこない方もいらっしゃるみたいですね。

そういう方々は、状況が分からぬこともあるので、そこは何かできないかというところは課題だと思います。

先週も1件あったのですが、家を回つていつも呼び鈴を押すと出てくる方々が出てこないので、昨日暑かったから部屋の中で倒れてないか心配だ。という電話がありました。幸い、出かけていたことが分かって、何事もなくて良かったんですけど、やっぱり年に数回は、そういう問い合わせがくるような状況です。

三浦委員

今のような、そういう感じで亡くなる方もいるかもしれないという事は、やっぱりみんなで考えないといけないですね。

佐藤課長

そういう関係もあって、生協さんとか新聞屋さんとか協定を結んでいます。例えば、郵便物や新聞などがポストに刺さったままだとか、しばらくものが動かないとか。これらを利用している方に限りますが、そのような場合は連絡をもらっています。

佐藤課長

去年、生協さんが家のものがしばらく動いてないので警察に連絡を入れて一緒に訪問したら、男性一人暮らしの方が亡くなつていたといことがありました。

確かに毎日毎日行ければいいんでしょうけども、その時間帯によっても居ないこともありますし 居なくて空振りであればいいのですが、たまたま居なかつたっていうだけで先ほど館長が言った通り何もなければそれでオッケーなんですけども。そういうふうにアットマークリアスさんとか社協さんのほかにもいろんな団体さんに気にかけてもらうようにしています。市内では、何か、気づいたときは、連絡をもらうという体制にはなっています。

松下事務局長

3月、4月、春先のあたりも今お話があったように生協さんの方からも、あの郵便物が溜まっているけど大丈夫か？と問い合わせがありました。こちらは幸い何事もなかつたので大丈夫でした。

三浦委員

私も行政の本や新聞配達をしているのですけど、そうするといつもポストがそのままで入れられないくらいきっちりなんですね。でも人が住んでいる気配はあるんですよね。ただ顔を合わせなくともこうして見ると、なんとなく人は住んでいるんだなと思うんですけどポストのものがいっぱいになっているので、そのままで片付けされてないでの心配ではありますが、数日後、ポストのものがなくなるとホッとするんです。

松下事務局長

あの郵便物だけじゃなくて、いろんな配布物が郵便ポストに入れられているのを見るのが面倒で大変だということで、そのままにしている人もいるみたいですね。

小山委員長

応援センターの方では、対策等はありますか？

松下事務局長

先ほど、まちづくり課長からも言われたように色々と回っている方々から気が付ければ、連絡が来るという形になっています。行政連絡員の方からもきますし、民生委員の方からもきます。

委員長のところも、新聞配達をしながら何かあれば連絡をいただければと思います

小山委員長

あとぜひ、今のような話でもいいですけども何か、ございませんか

三浦委員

うちの部落は、高齢者が割と多く、お店がないために買い物ができない。食事に食べるものを買いたくても何もないわけです。前に、農協さんが1週間に一回、回ってくれた時があったんですけどそれが無くなってしまい、みんな買い物ができないで困っています。じゃあ、せっかくバスがあるからバスで買い物に出かけられるかなと思うと、足が弱かったり、腰が悪かったりして乗り物に乗って出かけれるような状態の人が少ない。少しでも年が若い人たちは何人かでタクシーを頼んで往復タクシーで買い物に来る人もあります。同じ部落で、一人暮らしの男性が結構いるので大変だと思います。

90代の旦那さんが亡くなつておばあちゃんだけ一人になつたんだけど、盛岡から子供さんは週に3回買い物をしに来てくれるんです。そのように、来てくれる人がいればいいですが、なかなかそういう訳にはいかない。

松下事務局長

例えば社会福祉協議会さんのお隣さんクラブとか、買い物代行をしてもらったり、お庭の仕事を有償のボランティアでやってもらったりするので、そういうのを活用していただくとか、それでも本当にどうにもならないようであれば、生協の配食サービスとか、何かと方法はあると思います。

小山委員長

この前公民館にたまたま来たら、お茶会をやっていて、すごい数の女の人たちが参加していたようですが。けっこうにぎやかで、女の人の方が参加率は良いのは分かるが、男の私もそうだが、男性が参加しやすいものはないのか？また、対応策はないのか？

松下事務局長

男性に特化したものであれば、あの「男の手料理教室」があるんですけど、やっぱり男性の方でなかなか新しい方っていうのは増えないですね。一応声掛けはしているんですけど 難しいです本当に。

小山委員長

今年は、女性の方が多いのだけれど男性の方は限られた参加者であると感じますので、自分達だけでは大変だと思いますが、男性も参加しやすい事業を少しでも検討していただければなと思います。

松下事務局長

何もやってない訳じゃないんですけど、より多くの人の目に触れて参加者の方が、増えるように色々と公民館よりも内容の方を見直して頑張っています。一応お陰様で鵜

住居地区だけじゃなくて、ほかの地区からの参加者がぽつぽつ出てきています。

それこそ「ウォーキング」で言えばあの釜石地区から男性の方が来たりですね、いろいろ他の地区からも来ているので、引き続きいろいろ対策を考えていきたいと思います。

三浦委員

集会所はあるわけですけどグループが話し合いをしたり、いつでも誰でも行ってお話しできるようなそういうスペースを作れないのでしょうか。

松下事務局長

そこは、町内会の方々がやっていただければいいですね。

松下事務局長

一応、出張公民館事業で、なかなかここまで来れない地域向けには、何かやらなきやないって事は考えてましたので。ただそれも単発で終わるような感じなのでやっぱりなんか継続して、集会所で何かやりたいということであれば町内の中で、考えていただいた方が良いのかなと。私たちも毎日毎日、行くってことがちょっと難しいので。

三浦委員

私たちも、そのような人を何とか連れ出したいと思うんですけどね。

松下事務局長

山口さん何か ありませんか？

山口委員

「スマイルウォーキング」のスタンプラリーというものは、どのようものなのかな？というのと、「男の手料理教室」は目的があると思うんですけど、女性の参加は難しいと思いますが、「うのとり」で見てなんか面白そうだなって思った時に、男性じゃないとだめかと思ってしまい、男女共同参画のなかで、女性向けのものも何かあるといいなどいうふうにちょっと思いました。

松下事務局長

「スマイルウォーキング」のスタンプラリーにつきましては、継続して参加していただくためにはどういった方法があるかなという話だったので、スタンプラリーで毎回来たたびにハンコを押して完走した方々を対象に、何か特典事業をやれば皆さん、継続して参加することを考えもらえるのかなということで作ったものでした。

昨年度は、完走者とほぼ完走したような方々を平泉まで連れて行って、「世界遺産巡

札ウォーキング」ということで平泉の町の中を歩いて来ました。

今年度は、遠野市の福泉寺を計画していました。

女性専門の事業がないというお話ですけど、先ほどから話があるようにはほかの事業についてはほぼ女性の方々の参加者が多いので、男性の方に特化したものを作った方がいいんじゃないかという事で、「男の手料理教室」が出来たという経緯があります。あの「男の手料理教室」があるのであれば、「女の手料理教室」もやったほうがいいんじゃないかと話をしたことがあるのですが、やっぱり皆さん家庭で作る方が多いので、それいろいろとやり方とか考え方があるので、まとめてやることが難しいということで、没になったという経緯がございました。

佐藤課長

あの一つ、小佐野の「男の料理教室」は二つあるんですけど、一つは女性の方が、半分ぐらい入っています。もともと男の人たちがやっていたんですが、だんだん人がいなくなってしまい、女性の方も参加していつも喧嘩しながらやっていますけども。でもそれはそれなりに良いと思っています。

もう一つの方は男性の人達と食改さんです。食改さんと保健師が来て料理教室をやっています。女性の人が入るとやっぱり活気付くこともあると思いますので、交流という感じでやっていますが一応、名目上は「男の料理教室」なので、男の人が対象ということなのですけども拒まずという形ですね、

今の時代、人を制限してしまうとなかなか増えないっていうのと、今までの自分たちがやってきたものを守りたいという事はあるので。ただ女性が入ると雰囲気が少し変わるという事はあるかと思います。

松下事務機局長

コロナが流行する前に「お昼を食べよう会」という事業があったみたいなんんですけど、女性の方々が集まってきて自分たちでお昼ご飯を作つて食べるというような感じの事業があったみたいなんですけど、事業の中で料理をする人、食べるだけの人がだんだん出てきてしまい、その事をよく思わない人達が出てきて、ずっとそういう傾向があって、別の事業に変わったという事もあるので、なかなか女性だけのものは難しいところがあると思っていました。

山口委員

女性の方々は、確かに毎日いろんな工夫をされていると思うんですけども、そういう場所に行って人の作ったものを見て聴いて、そして自分自身が参考になるなって思う人も中には数人に一人いるかもしれませんよね。

松下事務局長

そうですね。昨年度ですが、2月頃に復活しましたね。あのもう一回やってみたらどうかって話もあって、「あつまれ！鵜住居の杜」の事業の中で、2月に試行的に行ってみました。全員が必ず料理に関わるように班分けをして、料理をやってない方は「ボッチャ」の試合をやってもらい、負けたチームが最後は皿洗いをやったんですけど、そういうやり方であれば皆さん、公平にやることができますので、できればそのやり方で、また、様子を見ながら先々のメニューとして考えていくべきだと思っています。

植田事務局

「男の手料理教室」については、男性の方々は女性が参加しているのなら参加しないという傾向があり、男性だけの教室だと参加をするという方も多々いるので男性だけの事業は、貴重であり実施することに意味があると思っています。

「お昼を食べよう会」のような男性も女性も一緒に参加できる教室については、内容を検討して実施するのもいいのかなと思います。

また、「お昼を食べよう会」は今年度も2月を実施予定にしています。昨年度実施しましたが、良かったところはそのまま残し、参加する皆さんのが楽しく参加しやすい会にするために実施の方向で検討をしたいと思っています。

小山委員長

ですね、皆さん何かご意見やご質問はありませんか？

自分の意見としては検討してやっていただきたいと思います。よろしくお願ひします。なければこれで終了したいと思いますが、本日の議事進行にご協力していただきまして大変ありがとうございました。 それでは、事務局にお返しいたします

松下事務局長

ありがとうございました。それでは、以上もちまして令和5年度第1回の鵜住居公民館運営審議会を終了致します。

今回の運営審議会は来年の2月頃の開催の見込みで、令和5年度釜石市立鵜住居公民館事業実施報告について、ご審議をいただきたいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。

本日はご多忙のところご出席いただきありがとうございました。

(3) 閉　　会

松下館長が審議会の閉会を宣言した。